

# 人のくらしと生き物が共存する水路：車屋せぎ・崖下せぎ

松本市島内の街なかを流れる水路、車屋せぎ、崖下せぎは、湧き水に由来する水路です。松本市の生物多様性地域戦略「生きものあふれる松本プラン」において市民にとって生物多様性保全への入り口になるモデル地区に選ばれています。

車屋せぎ、崖下せぎの水路には、湧き水の砂れき底に生育、生息する動植物と栄養分の豊富な場所に生育、生息する動植物がモザイク状に分布しています。

## 湧き水由来の水路

車屋せぎ、崖下せぎは湧き水由来の水路です。湧き水の澄んだ水が豊富ですが、街なか、農地を流れているため、栄養分が流れこみ、栄養分が豊かな場所もところどころ存在します。このことが水路内に多様な環境を生み出し、多様な動植物のすみ場所になっています。

また、この地区は平成28年に松本市生物多様性地域戦略のモデル地区に選定されました。生物多様性が豊かなだけでなく、人のくらしや農業との関わりも深く、環境教育の場としても活用されており、SDGs\*にも資する地区となっています。

\*SDGs: 持続可能な開発目標



## 湧き水の砂れき底の生きもの



エルモンヒラタカゲロウ



カジカ



スナヤツメ



ハイカモ

## 栄養分の豊富な場所の生きもの



サカマキガイ



ドジョウ



イチヨウウキゴケ



ミソバ

## 人の手が入っているからこそ

車屋せぎ、崖下せぎは、地元の方々の手によって維持・管理されています。水路内の水草を定期的に取り除くことで、水流の維持と水草の生育が両立されています。水草が生育することで、水中の草食動物の餌となったり、水草そのものが栄養分を吸収して水をきれいにしていきます。また、生育している水草そのものが絶滅のおそれのある種であることもあります。人の手が入っているからこそ、人が利用する水路としての機能と動植物のすみ場所の機能が維持されているのです。

水路沿いの土手は、草刈りが行われていて、広く水路を見渡せるように景観が維持されています。同時に、安全に水辺に近づくことができるため、子どもから大人まで安心して動植物を観察することができます。



水路内の豊富な水草  
(増えすぎると水が流れにくい)



定期的除草することで水草の生育と水の流れやすさを両立



水路の管理の様子  
(写真提供：町地区町会)



## 見に行く場合の注意

- 水底にとがった石などがあるため、長靴などをはいて水にはいりましょう。
- 必ず大人と一緒にいきましょう。
- 車を止められる場所が少ないため、周囲に迷惑とならないように注意しましょう。

■お問い合わせ  
松本市 環境エネルギー部 環境・地域エネルギー課  
☎ 0263-34-3268 E-mail:s-kankyo@city.matsumoto.lg.jp



松本市の生物多様性の保全に関する情報を紹介しています